

# 手指・皮膚及び医療機器の消毒に…

殺菌消毒剤

日本薬局方

## 消毒用エタノール

Ethanol for Disinfection



### ■ 組成・性状

エタノール(C<sub>2</sub>H<sub>6</sub>O)76.9～81.4vol%を含有する。  
無色透明の液である。

### ■ 効能・効果

手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医療機器の消毒

〔禁忌（次の部位には使用しないこと）〕

●損傷皮膚及び粘膜

〔注意〕

●原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。 [要約]

詳細は、D.I. 欄又は製品添付文書等をご参照ください。

### ■ 用法・用量

本品をそのまま消毒部位に塗布する。

### ■ 包装

500 mL（ポリエチ瓶、ガラス瓶、減容ボトル）、  
1000 mL（減容ボトル）、2 L（減容ボトル）、  
5 L（減容ボトル）、10 L、16 L

## 減容ボトル採用によりゴミ削減



- 500mL、1000mL、2L、5L  
折りたたみが容易な角型減容ボトルを採用していますので、使用後のゴミを減らし、廃棄処理コストが削減できます。減容後の容積は、500mL、1000mLで約1/4、5Lで1/5以下になります。

### DRUG INFORMATION

「禁忌を含む使用上の注意」の改訂に十分ご留意ください。

商品名	和名	日本薬局方 消毒用エタノール
	洋名	Ethanol for Disinfection
製造販売元		健栄製薬株式会社
日本標準商品分類番号		872615
薬効分類		殺菌消毒剤
規制区分		普通薬
承認番号		(61AM)1533
承認年月		1986年3月
薬価基準収載年月		1986年3月
販売開始年月		1994年11月
再評価結果		1982年8月
禁忌	<b>禁忌</b> (次の部位には使用しないこと) 損傷皮膚及び粘膜 [損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。]	
組成・性状	エタノール (C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> O) 76.9～81.4 vol%を含有する。 無色澄明の液である。	
効能・効果	手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒	
用法・用量	本品をそのまま消毒部位に塗布する。	
使用上の注意	1. <b>重要な基本的注意</b> (1) 眼に入らないように注意すること。 眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。 (2) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。 2. <b>副作用</b> 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。 (1) <b>過敏症</b> ：発疹等の過敏症状(頻度不明)があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。 (2) <b>皮膚</b> ：刺激症状(頻度不明)があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。 3. <b>適用上の注意</b> (1) <b>人体</b> 1) <b>投与経路</b> ：原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。 2) <b>使用時</b> ：同一部位(皮膚面)に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので、注意すること。 (2) <b>その他</b> 1) <b>使用時</b> ：血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが附着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落してから使用すること。 2) <b>器具等材質</b> ： ア. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。 イ. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐蝕を防止するために0.2～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。 4. <b>その他の注意</b> 承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。	
薬効薬理	本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。	
取扱い上の注意	<貯法> 気密容器・遮光して、火気を避けて室温保存 <使用期限> 容器等に表示 <注意> (1) 引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。 (2) 衣類等につくと脱色、変色することがあるので注意すること。 (3) 開封時、容器の肩部又は底部をもち、液がとびださないように、キャップを開けること。(500mL、1000mLに記載)	
包装	500mL(ポリエチ瓶、ガラス瓶、減容ボトル)、1000mL(減容ボトル)、2L(減容ボトル)、5L(減容ボトル)、10L、16L	

[詳細は添付文書等をご参照ください。]

#### 文献請求先

健栄製薬株式会社 学術情報部  
〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号 電話番号 06(6231)5626 FAX番号 06(6204)0750